

セクションI 感染症学総論 Introduction to Infectious Diseases	到達レベル (知識)	到達レベル (手技・技能)
1. 感染症の成立 ・感染症の成立に関する基本的事項を理解し、説明することができる。		
1) 自然界におけるヒトと微生物の関係（常在菌、病原菌、環境菌、発酵食品、共存共生など）を説明できる。	A	
2) 宿主（ヒト）-寄生体（微生物）との関係（外因性感染、内因性感染、日和見感染など）を説明できる。	A	
3) ヒトの感染防御機構（皮膚・粘膜障害、非特異的液性因子、貪食細胞、細胞性免疫、液性免疫など）の概略を説明できる。	A	
4) 感染経路〔空気、飛沫、経口、接触、血液媒介、動物由来（人獣共通）、水平、垂直（母子）、性行為など〕の概略を説明できる。	A	
5) 微生物の病原性（付着能、侵入性、毒素産生能など）の概略を説明できる。	A	
6) 感染症診療における微生物検査の意義（起炎微生物の検出、薬剤感受性検査、など）を説明できる。	A	
2. 感染症と病原微生物 ・感染症の診断に有用な微生物検査を行うため、身体各部位における常在菌叢と感染臓器別の起炎微生物に関する知識を身に付ける。		
1) 身体各部位の常在菌叢を説明できる。	A	
2) 上気道感染症の種類と起炎微生物を述べるができる。	A	
①かぜ症候群、②咽頭炎、③喉頭炎、④喉頭蓋炎、⑤外耳道炎、⑥中耳炎、⑦乳様突起炎、⑧鼻副鼻腔炎、⑨喉頭蓋炎、⑩口腔、⑪頭頸部感染症		
3) 下気道感染症の種類と起炎微生物を述べるができる。	A	
①急性気管支炎、②慢性気道感染症、③細気管支炎、④肺炎（急性、慢性）、⑤膿胸、⑥肺膿瘍		
4) 尿路感染症の種類と起炎微生物を述べるができる。	A	
①急性膀胱炎、②腎盂炎		
5) 敗血症の代表的な起炎菌を述べるができる。	A	
①腹膜炎、②腹腔内膿瘍、③肝胆道系感染症（肝膿瘍、胆管炎、胆嚢炎）、④臍感染症、⑤脾膿瘍、⑥虫垂炎、⑦憩室炎		
7) 心・血管感染症の種類と起炎微生物を述べるができる。	A	
①心内膜炎、②心筋炎、③心外膜炎、④縦隔炎		
8) 中枢神経系感染症の起炎微生物を述べるができる。	A	
①髄膜炎（急性、慢性）、②脳炎、③脳膿瘍		
9) 皮膚・軟部組織感染症の起炎微生物を述べるができる。	A	
①蜂巣炎、②壊死性筋膜炎、③筋炎、④リンパ節腫脹、⑤リンパ節炎		
10) 腸管感染症の起炎微生物を述べるができる。	A	
11) 急性胃腸炎の起炎微生物を列記することができる。	A	
①食道炎、②胃腸炎、③食中毒		
12) 骨・関節感染症の起炎微生物を述べるができる。	A	
①関節炎、②骨髄炎		
13) 生殖器感染症および性感染症の起炎微生物を述べるができる。	A	
①尿道炎、②膣炎、③細菌性膣症、④子宮頸管炎、⑤骨盤内感染症（女性）、⑥前立腺炎、⑦副睾炎、⑧睪丸炎		
14) 眼感染症の起炎微生物を述べるができる。	A	
①結膜炎、②角膜炎、③眼内炎、④ぶどう膜炎、⑤眼周囲感染症		